

## Sagasokka!活用事例

### 我孫子市立第二小学校

【3年生／国語】

## 項目に掲載されたNDC（日本十進分類法）を手掛かりに、本を探す。 オンライン百科事典から紙の本へ！ 知りたい情報を探していく

我孫子市立第二小学校では週に1時間、学校図書館を活用した授業に取り組んでいます。小学3年生国語、クラスの「生き物ブック」の単元では学校図書館に端末を持ちこんで『Sagasokka!』で調べたり、紙の本で調べたり、様々な資料に当たって必要な情報を探します。学校司書の相澤京さんと行ったTT（ティーム・ティーチング）授業の様子を、星野拓先生に伺いました。



- ・所在地 千葉県我孫子市
- ・学年 3年生
- ・全児童数 約430名
- ・内容/用途 国語 クラスの「生き物ブック」
- ・利用開始 2022年4月 Sagasokka!

## 小学3年生国語 クラスの「生き物ブック」。まずは『Sagasokka!』で検索

### 授業のねらい・工夫

この単元では事前に学習した図書のNDCを活用することが大きなねらいの1つです。『Sagasokka!』ではNDCという記載で十進分類法上の3桁の数字を確認することができます。つまり『Sagasokka!』で見つけた生き物について文献を探して詳細に調べたいと思ったら、NDCの欄に記載された数字をたよりに学校図書館の本を探せばよいのです。今回の授業を学校図書館で行ったのはまさにこのねらいのためです。また、本時のように図書の時間を活用すれば、学校司書の力を借りてTTで授業を展開できることも大きなメリットです。

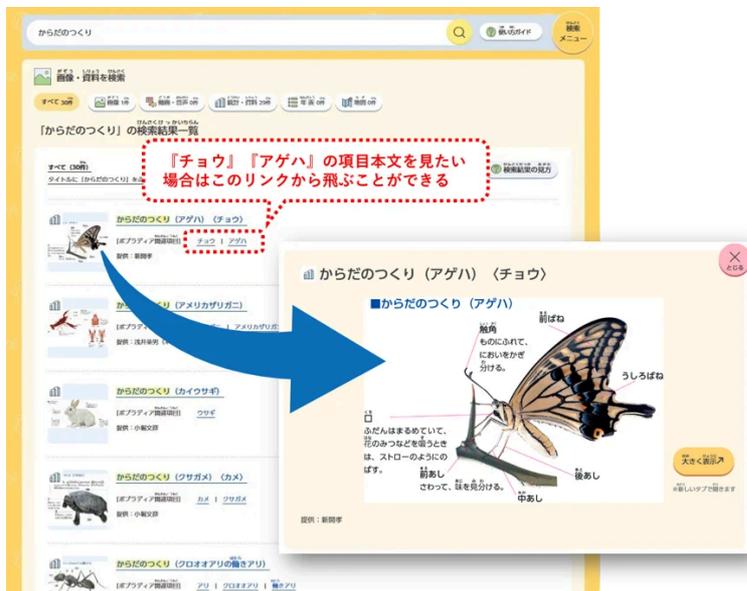
工夫した点として、調べる生き物に迷ったら『Sagasokka!』の「画像・資料を検索」を使ってみようと呼びかけました。「検索メニュー」から「画像・資料を検索」をひらき「からだのつくり」で検索すると、生き物の「からだのつくり」をイラスト付きで示した資料が複数出てくるので、迷っていることもたちのヒントになればと考えました。

また、本を探す際は闇雲に探すのではなく、まず『Sagasokka!』で知りたいことを検索し、その項目に掲載されているNDCをもとに本を探すよう声をかけました。調べるにあたっては、生き物の似ているところと違うところに着目すること、資料の本文を丸写ししないことも説明しました。

『バッタ』の項目本文。NDC（日本十進分類法）はこのような項目本文の最後に▶掲載されている。

486（昆虫類） 615（作物栽培・作物学）  
この情報を頼りに図書館の書棚を探してみると参考資料を見つけることができる

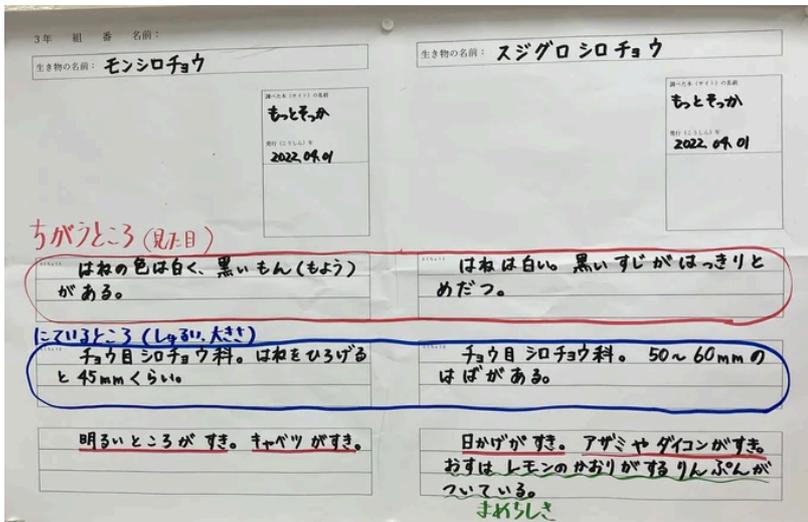




◀ 「検索メニュー」から「画像・資料を検索」のコーナーをひらき「からだのつくり」で検索すると、イラスト付きの資料が出てくる

### 授業でやってみたこと

- 調べる際の着目点を確認する（自分だけの図鑑にするために、テーマを決め、似ているところと違うところに着目して見分け方を示す）
- 『Sagasokka!』の使い方を説明し、作業の手順を確認する
- 出典について振り返る
- 『Sagasokka!』の項目（各項目には関連するNDCが表記されている）から学校図書館の本に結び付くように、NDCの見方を振り返る
- 『Sagasokka!』や学校図書館の本を使って、それぞれが選んだ生き物について調べる
- 調べたことをプリントに書き（出典を必ず記録するよう声をかける）、生き物の特徴を説明する文章を書くための基礎を作る



『Sagasokka!』の項目に表記されたNDCをもとに、学校図書館の本を探す

今回の授業で使用するプリント（星野先生オリジナル）の記入例を黒板に掲示。似ているところ、違うところ、ほかわかったこと（豆知識）と段を分けてメモを取ることで、メモをもとに説明文を書く際、児童が迷わず作業を進められるよう工夫されている。また出典記入欄を目立たせる配置としたことで、記録忘れの防止をはかっている

### 『Sagasokka!』を使って

今回の授業準備では学校図書館を活用することもあって学校司書と打ち合わせを行いました。『Sagasokka!』の機能や授業の流れ、学校司書から受けたいサポート等について一度話す時間を設け、連携を取ることで、授業がスムーズに進行できたと思います。

クラス全員分の百科事典を揃えることは難しいので、これまでクラス全員で百科事典を引くことはできませんでした。その点『Sagasokka!』を活用すると、全員が手元でオンライン百科事典を開くことができ、調べ学習において子どもたちが必要な資料を一人ひとつは保証できます。本をうまく探すことができなかつたとしても「資料がひとつもない」という児童をなくし、みんなが学習を進められる環境をつくり出すことは、非常に重要なことだと思っています。